

ステアリングロック NEIMAN バネにまつわるエトセトラ

R26-69S-R100RS/RT/GS/R (1955-1997)

BMWにはナイマン製のKEYセットが使われています。

1955年発売のR26、R50、R69からステアリングヘッドに組み込まれたロックが採用されました。イグニッションKEYとは別なため紛失して使用できないことも多いようです。車検の際のチェック項目にもなっていますし、盗難防止の観点からもきちんと機能するようにしておくことが重要と考えます。

どこにも記載、指示はありませんが付属のスプリングには向きがあります。径が微妙に異なります。

小さいほうを奥にしてセットしてください。逆に組むとロックを押すときに引っ掛かり動きが重くなります。ロック解除の際も抵抗が大きいのでバネの力だけでは戻ってこないこともあります。



後期型カバーは丸型になっている

上は/6以降用(丸) 下はR26-69Sと/5用(スリット)

国産車と異なりハンドルを右に切ってロックする方式です。駐車中に追突された際に道路中央に飛び出さないための工夫だと思います。マフラーもシングルの場合BMWでは左に装着されていますが国産車は通常右に装着されています。これも歩行者側に高温部品を持ってこないという配慮のように思います。

ただ最近のモデルは関係ないようですが、



片側マフラーも右になってしまいました



スズキ純正でもジャーマニー

刀1100はナイマン製ロックが採用されていました。奇抜すぎるモデルなので国内でヒットするとは思っていなかったのが輸出用のまま販売したためでしょうか。国内の法規は左右の向きは問わないのでしょうか？